

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-180	13-042	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)		
Longitudinal associations between smoking cessation medications and alcohol consumption among smokers in the International Tobacco Control Four Country survey. 喫煙者における禁煙補助薬の使用と飲酒量の変化について		
執筆者		
McKee SA, Young-Wolff KC, Harrison EL, Cummings KM, Borland R, Kahler CW, Fong GT, Hyland A		
掲載誌		
Alcohol Clin Exp Res. 2013 May;37(5):804-10. doi: 10.1111/acer.12041. Epub 2012 Dec 14		
キーワード		PMID
アルコール、ニコチン置換薬、varenicline、疫学、禁煙		23240586
要 旨		
<p>目的： 禁煙は飲酒行動に影響を与えないとされている。しかし、禁煙補助薬は禁煙の影響とは別に飲酒行動に影響を与える可能性がある。喫煙者を対象とした長期縦断疫学研究から、禁煙の影響とは別に禁煙補助薬が飲酒行動を変化させるか検証した。</p> <p>方法： イギリス、オーストラリア、カナダ、アメリカの一般住民4,995名を対象とした電話調査であるthe International Tobacco Control (ITC) Survey 2007、2008のデータを解析した。飲酒量と頻度、禁煙補助薬（ニコチン置換薬、varenicline、bupropion）の使用、喫煙行動を2つの年次調査から評価した。ベースライン時の飲酒状況と喫煙状況を調整し、禁煙補助薬の使用と飲酒量の減少に相関があるか検証した。</p> <p>結果： varenicline群はニコチン置換薬群と比較して、飲酒歴ありの群、月1回以上飲酒群で飲酒量が少なく、また、varenicline群は無治療群と比較して、月1回以上飲酒群で飲酒量が少なかった。ニコチン置換薬群は無治療群と比較して、月1回以上飲酒群で飲酒量が多かった。禁煙補助薬の使用は週1回以上飲酒群では飲酒回数、1回あたりの飲酒量共に関連が認められなかった。禁煙治療と飲酒との関係は、禁煙することの影響を受けなかった。</p> <p>結論： varenicline使用群は飲酒量が少なかった。今後、ニコチン置換薬と飲酒量の関係を明らかにしたい。</p>		